

つやまっ子に贈る100冊の本

人に優しく、自分に厳しくする



推薦者
杉山 慎策 さん
(津山市市政アドバイザー)

司馬遼太郎の著書が好きで、ほとんどの作品を読んでいます。その中でも『対訳21世紀に生きる君たちへ』

を読んだ時は、その内容はもちろんのこと1文1字も無駄のない文章に感動を覚えました。この本には著者自身が見ることができない未来を生きる子どもたちへのメッセージが込められています。それは、人間は自然を尊敬し、人間同士も尊敬し合うことが大切であること。自分に厳しく相手には優しくできる自己確立の重要性が述べられています。

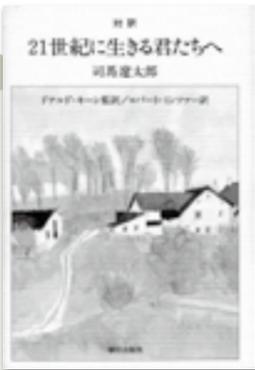
テレビやインターネットなど情報媒体のデジタル化が進む現代ですが、読書は子どもの

つやまっ子読書プランキャラクター
「ぶっくちゃん」



創造力を育むためにも大切なことだと思っています。子どもたちには、読書を通して自己を確立する力や人に対する優しさを学んでほしいと思います。

また、この本は著者からわたしたち未来を生きる全ての人間に対する遺言のようにも感じています。大人にも名文の英訳と併せて、ぜひ、読んでほしい1冊ですね。



『対訳21世紀に生きる君たちへ』
司馬遼太郎 著
(朝日出版社)

東日本大震災により発生した大量の震災がれきの処分が全国的な課題になっています。津山市の対応はどのようなようになっていますか？(市内 男性)



問い合わせ先 環境事業所
☎22・8255



こうしたこともあり、今回の震災廃棄物の処理については放射能などに対する安全性の確保や市民の皆さんのご理解が得られれば、国が提案する広域処理に協力したいと考えています。
しかし、現在、横山の最終処分場が埋め立てを終了しているため、焼却処理で発生する焼却灰や不燃ごみなどの埋め立てごみは市外で処理を行っています。
こうしたことから、現在の津山市では震災廃棄物の受け入れはできない状況です。ご理解ください。

きらめく津山人

津山の魅力を全国の人に伝えたい

小説家
平茂 寛さん(椿高下)



小説を書き始めたきっかけは？
わたしは普段、農業普及指導員の仕事をしています。50歳を目前にして、勉強会で目標を決めて行動するというテーマが与えられました。その時、自身の目標として頭に浮かんできたのが小説家になることでした。

それまで特に本を読むことが好きだったわけでもなく、文章を書くことが得意だと思ったこともありませんでした。しかし小説を書くことの魅力は？
小説は、書きながら楽しめることが魅力です。小説の世界観や人物像、風景などを膨らませて自分の世界を作っていくことができます。

上げてみようと思いました。

わたしが書いたのは時代小説なので、歴史や史実を基にして、そのすきまを仮説で埋めていく手法で創作しています。例えば、蕙斎の人物像は一枚だけ現存する肖像画からイメージを作り上げました。イメージを作る時は、絵から作ることもあれば文献などの資料の内容から作ることもあります。
イメージを作り、仮説を立てて小説を書き進めていくうちに、資料から仮説を裏付けるような事実を発見することがあります。それも小説を書いていて、うれしく、魅力を感じる瞬間ですね。
今後の目標は？
これからは、より多くの人に読んでもらえる小説を書いていきたいと思っています。わたしは岡山県に就職したことがきっかけで津山に住むようになったこと、小説を書き続けることで、わたしを温かく迎えてくださ

ながら、仕事で作成した報告書が「我ながらいい出来栄だな」と感じたことが小説を書くことになったきっかけになったのかもしれない。
また、友人と遊びに行ったことを小説風の書きものにして、その友人に見てもらったことがありました。そこで友人から「小説家になればいい」と勧めてもらったことも自信を深めるきっかけになったと思います。

小説を書くためにさまざまな文献を研究していくうち、時代小説の分野に入っていました。そうすると津山には歴史上の謎めいた遺跡や人物が多いことに気が付き、その中でも江戸の浮世絵師から津山藩のお抱え絵師に召し抱えられたという異色の絵師・鍛形蕙斎という人物への興味が高まり、小説の題材に取り



▲『隈取絵師』(朝日新聞出版)

た津山の皆さんへの恩返しができばと思っています。
今回の小説を書いていくうちに津山の歴史や文化の豊かさなど、改めて素晴らしさを感じました。この小説にはそんな思いも込めていますので、津山の皆さんにも読んでほしいですね。また、全国から「隈取絵師」を読んだから津山に来た」とホルモンうどんなような現象が起きてくれたらうれしいです。小説を書くことで、津山のいいところを一人でも多くの人に伝えて、津山に愛着を持つ人が増えてほしいです。
津山のことが好きですと住み続けたいと語る平茂さん。津山への思いが込められた小説を皆さんも読んでみませんか。